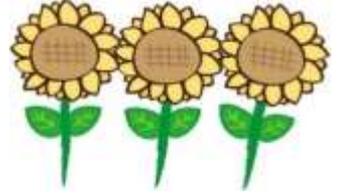


かがやき

令和3年 7月21日(水)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 6

「特別な時間・夏休み」

いよいよ夏休みが始まります。4月からの学校生活も本当によく「みんな」頑張った！という感じです。以前の通信で、子供の時間感覚について「人生の中で感じる時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例する」というフランスの哲学者ポール・ジャネ氏の法則を紹介しました。子供たちの小学校時代の夏休みはやはりいろいろ特別な記憶につながっていくのだろうなあと思つ青な夏空と入道雲をみながら思います。楽しく、安全に、健康に特別な「夏休み」という時間を過ごしてください。9月にたくさん話を聞けることを楽しみにしています。



～指導場面あれこれ～相手への言い方や語気～

子供たちの言葉を聞いていて、当然ながらまだまだ言葉の意味や使いかたがわからないことも多くあるので、そのつど言葉を補いながら指導することもあります。グループ指導の中で自分の考えをまとめたり相手に伝わるように話したりするスピーチの順番を決める場面でのこと。数人の子供たちは順番を決め、まだ決まっていないA君に「A君は何番目がいい？」と聞きました。そのときA君は「どうでもいい」と答えました。先生が「何番目でもいいという意味かな？」と聞くと「そう」とのことだったので、先生が「何番でもいいと言ったほうがA君の気持ちが正しく伝わるよ」と話しました。「どうでもいい」と「何番でもいい」とでは周囲からの受け止めのニュアンスも違ってきますね。また、最近多く感じるのは「知ってる？」と聞かれたことに「知らん！」などと強い口調で返す言葉です。子供たちは意味や意図をまだ適切に知らないで使う言葉が多くあります。最近では動画でのゲーム実況やオンライン上でのゲーム言葉の影響も少なからずあるようです。意図せず発した言葉でトラブルになることもあります。そのつどですが、その状況に応じた言葉や言い方、適切な意味理解についてみんなで考えていっているところです。

「生活リズムや学習のプランニング」

休みに入ると頭が痛くなるのが「生活リズム」や「学習時間」をどのように設定していくかだと思います。ご家庭によって様々事情や状況も異なるので一律にこうだというのは難しいのですが、それぞれ子供の「くせ」を理解しつつ、なるべくなら戦うことを少なく、丸く収めていける日々になればと思います。以下にいくつかの事例を紹介しておきます。(これをするというわけではなく、参考の一つしてお考え下さい。)

- ・事前設定で見通しを・・・本格的に休みに入る前に生活リズムについて話し合っておく。事前に話しをしておくことで長い休みの中で生活の見通しをもつこともできます。
- ・大きく、かんたんな表記で・・・細かい日勤表だと表記や確認が難しいこともあります。「これだけは」というものを絞り込んで大きめに簡単表記で意識付けてもいいかもしれません。
- ・環境整備で作る生活リズム・・・ついつい遅くまで見てしまうテレビやゲーム、タブレット。家庭によっては消灯や就寝環境を作るのも難しい場合もあると思います。可能な範囲で環境整備を意識して子供の生活リズムを支援していきたいですね。
- ・100点は目指さずに・・・なかなか大人の思い通りにならないことは前提に。深呼吸しながらやっていきましょう。一緒に立案し、できたときには最大級に評価する。その子なりの支援を考えていければとおもいます。

～お知らせ～ 個別指導計画について・・・9月末に前期のあゆみと一緒にお渡しします。また、同時に後期の個別指導計画案もお渡し、確認していただく予定です。(詳細は後日お知らせします。)